

減災対策協議会 資料

概ね5年間で実施する取組 [第1次5カ年計画 (H29~R3) 第2次5カ年計画 (R4~R8)]

資料-5

具体的な取組の柱		実施内容	伊万里市		有田町		佐賀地方 気象台		危機管理防災課 (県)		河川砂防課 (県)		ダム管理 事務所		伊万里土木 事務所			
			実施時期		実施時期		実施時期		実施時期		実施時期		実施時期		実施時期			
			第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次		
1. ハード対策																		
■洪水を安全に流すためのハード対策																		
①	堤防整備	堤防整備、河道掘削、堤防の浸透対策を実施															○	
②	河道掘削																	
③	堤防の浸透対策																	
■避難行動、水防活動、排水活動等に資する基盤等の整備																		
①	門沿な避難に資するための避難所案内看板の設置	避難所案内看板の設置	○ ~H29	—	○ R2	○ R4~R5												
②	住民にわかりやすく水位情報を示すための水位レベル表示(量水標)の設置	住民の目につきやすい橋梁の橋脚などに、河川水位の危険度レベルを用いた水位情報標識の設置															○ H28~H29	
③	住民にわかりやすく水位情報を示すための距離標の設置	住民の目につきやすい河川の堤防に、河口からの距離、海拔を表示した距離標の設置															○ H28~H29	
2. ソフト対策																		
① 水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組																		
【水害リスク情報の共有】																		
①	水害リスク情報を共有できるハザードマップへの改良と周知及び活用の推進	ハザードマップの改良と周知	○	○	○ R1~R3	○ R6												
②	水位周知河川を対象とした想定し得る最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	水位周知河川やダム下流河川等のL2浸水想定区域図作成に着手及び公表										○ 【完了】		○ R1~R2			○ H28~H30	
③	水位周知河川以外の1級河川、2級河川を対象とした想定し得る最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図等の公表	水位周知河川以外の1級河川、2級河川の浸水想定区域図作成										○ 【新規】					○	
【防災意識の啓発】																		
④	防災意識向上と迅速な避難に役立つマイ防災マップづくりと拡充	マイ防災マップの整備	○ H26	—	○ R1~R3	○ R4~R5												
⑤	防災意識向上と迅速な避難に役立つまちごとハザードマップ整備	まちごとまちごとハザードマップ整備	○ H23	—	—	—												
⑥	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ R1~R3	○	○	○	
⑦	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実	Webサイトなどあらゆる媒体を活用し雨量、水位及び地域住民の水防災意識啓発に資する情報の提供	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	

概ね5年間で実施する取組【第1次5カ年計画（H29～R3） 第2次5カ年計画（R4～R8）】

資料-5

具体的な取組の柱		実施内容	伊万里市		有田町		佐賀地方 気象台		危機管理防災課 (県)		河川砂防課 (県)		ダム管理 事務所		伊万里土木 事務所		
			実施時期		実施時期		実施時期		実施時期		実施時期		実施時期		実施時期		
			第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次	
【リアルタイム防災情報の共有】																	
⑧	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善を行う						○ 【完了】									
⑨	防災気象情報提供環境の強化（アクセス集中対策強化）や線状降水帯の予測精度向上及び情報提供の改善（線状降水帯の可能性を広域に予測）	<ul style="list-style-type: none"> ・防災気象情報を国民に提供する気象庁ホームページを強化し、災害時のアクセス集中時にも防災気象情報を確実に提供できるようにする。 ・半日前から線状降水帯等による大雨に伴う危険性を国民向けに呼びかける情報を概ね広域・県単位・市町村単位で提供。 ・半日前から線状降水帯による集中豪雨に伴う危険度分布を提供など。 						○ 【新規】									
【避難勧告等の発令】																	
⑩	避難に着目した簡易版タイムラインの作成及び支援	市・町で作成している避難勧告に着目したタイムラインの作成・検証、及び精度向上に参画	○ H30	○	○	○				○ H30～R3	○	—	○			○ H30～R1	○
【住民等への防災情報の周知】																	
⑪	防災情報総合サイトの活用と周知	防災情報総合サイトの活用と周知										○	○				
⑫	様々な防災情報提供ツールを用いた防災情報伝達の強化（多重化）	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線と連携した固定電話、FAXへの自動送信サービスの導入 ・あんあんメールや防災・減災さが等防災情報伝達(内容)の強化（多重化） ・水位周知河川を対象としたCCTVカメラの設置推進 	○ H29～R1	—	○	○				○	○	○	○				
【避難行動に繋がる訓練】																	
⑬	避難に着目した簡易版タイムラインに基づく実践的な訓練への支援	市・町のタイムライン作成の及び訓練への支援								○	○					○	○
⑭	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援	—	—	○	○				○	○	—	○			○ H30～R3	○
⑮	水害リスクが高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施	水害リスクが高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施、及びその支援	○	○	○	○				○	○			○ R2～R3	○	○ H30～R3	○
【河川巡視情報の共有】																	
⑯	重要水防箇所共同点検	県管理河川の重要水防区間のうち、危険箇所を抽出し、地域住民代表を交え、出水期までに共同点検(合同巡視)を実施	○	○	○	○										○	○

概ね5年間で実施する取組 [第1次5カ年計画 (H29~R3) 第2次5カ年計画 (R4~R8)]

資料-5

具体的な取組の柱		実施内容	伊万里市		有田町		佐賀地方 気象台		危機管理防災課 (県)		河川砂防課 (県)		ダム管理 事務所		伊万里土木 事務所	
			実施時期		実施時期		実施時期		実施時期		実施時期		実施時期		実施時期	
			第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次
② 地域住民・市民団体・関係機関の連携・協働による地域の将来を担う人材の教育・発掘に向けた取組																
【避難場所や避難路の確保】																
①	浸水や土砂災害による途絶を考慮した避難経路や避難場所の確保に向けた連携・協働の取組	土砂災害の危険に配慮した避難経路や避難場所の見直し及び避難計画の策定、及びその支援	○	○	○	○			○	○						○
②	避難所・避難経路の安全性確認及び見直し	避難所・避難経路の安全性の確認	○	○	○	○										
③	浸水や土砂災害による途絶を考慮した基幹避難所等における備蓄の強化	民間事業者等と災害情報の収集、食料、資機材の供給、物資輸送等に関する協定を締結し、災害対応の強化	○	○	○	○										
④	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進（再掲）	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援	—	—	○	○			○	○	—	○			○	○
【長期浸水リスクの周知】																
⑤	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大（再掲）	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実（再掲）	Webサイトなどあらゆる媒体を活用し雨量、水位及び地域住民の水防災意識啓発に資する情報の提供	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
【水防活動等】																
⑦	関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	自主防災組織、消防団、県地域防災リーダーを対象とした研修会の実施、及びその支援	○	○	○	○								○	○	○
⑧	自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成・強化、河川協力団体との連携	自主防災組織、消防団、県地域防災リーダーを対象とした研修会の実施	○	○	○	○										
③ 洪水被害軽減のための取組と既存施設運用の工夫等の取組																
【既存施設運用等】																
①	氾濫水を迅速に排水するための緊急排水計画の検討・策定	氾濫水を迅速に排水するための緊急排水計画の検討・策定									—	流域治水 ↑				
②	洪水被害軽減のための既存ダム洪水調節機能強化の取組	ダム事前放流の検討・実施												○	○	
【水防資機材等】																
③	水防資機材の保有状況の確認、見直し	水防資機材の保有状況の確認	○	○	○	○										○

①水防意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を
推進するための取組【避難行動に繋がる訓練】

■伊万里市防災パトロール【伊万里市】 継続

- 地元から提出された災害危険箇所の調査を行い、雨季前に危険箇所の状況や今後の対応などについて地元と共有を図った。
- 市、伊万里消防署、伊万里警察署、伊万里農林事務所、伊万里土木事務所、地元区長などで災害危険箇所の現状把握を行う伊万里市防災パトロールを行った。



市道災害の復旧計画について説明している様子



ため池の改修状況及びハザードマップについて説明している様子

■伊万里市防災パトロールによる効果

- ① 雨期前に市、行政区双方で災害危険箇所を把握することで、災害被害の軽減が期待できる。
- ② 災害対応における防災関係機関相互の協力体制の確認を行うことができた。

■今後の取り組み

- ① 継続実施する。

①水防意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組【防災意識の啓発】

■市ホームページ、広報紙等を活用した防災に関する啓発活動 【伊万里市】 継続

【出前講座】

- 各種団体等からの申込みにより出前講座を実施。
- 令和3年度は4団体74名に対して市の防災体制や平時、災害時の市民の対応等について説明した。
- 大坪小学校5年生生徒（94名）の総合学習として、市の災害について説明し、指定避難所に備蓄している資機材を使った避難所体験をするなど、災害への備えについて生徒の意識を高めた。

【市ホームページ】

- 自然災害全般に関することや、河川・土砂災害のハザードマップなどを掲載している。

【広報紙等】

- 6月号の「広報いまり」に防災特集を掲載し、新たな避難情報など市民に周知した。



市の災害について説明する様子(大坪小)



備蓄品を使った避難所体験をする様子(大坪小)

■ 出前講座、市ホームページを活用した防災に関する啓発活動による効果

- ① 市民の防災意識や知識の向上に寄与した。
- ② 地域防災力の向上に寄与した。

■ 今後の取り組み

- ① 継続実施する。

②地域住民・市民団体・関係機関の連携・協働による地域の将来を担う人材の教育・発掘に向けた取組【避難場所や避難路の確保】

■避難所の感染症対策【伊万里市】 継続

- 雨季前に、指定避難所で避難者の受け入れなど対応を行なう市職員に対し、災害配備体制の説明や連絡体制の確認を行うとともに、感染症対策として新たに導入したパーティションや簡易ベッドなど資機材の使用の説明と設置訓練を開催し、災害時の円滑な市民の受け入れに備えた。
- 研修会については、地元ケーブルテレビの協力を得て放送し、コロナ禍においても感染症を恐れることなく、危険が迫ったら躊躇なく避難する必要があることを周知した。



災害配備体制など説明している様子



資機材の設置訓練に取り組む様子

- 避難所の感染症対策による効果
 - ① 職員の災害対応に対する心構えや避難所運営のための対応力の向上を図り、円滑な避難所運営に寄与した。
 - ② 市民の防災意識や知識の向上に寄与した。
- 今後の取り組み
 - ① 一般防災知識の普及として継続実施する。

2. ソフト対策

①水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進する為の取組

【水害リスク情報の共有】

【防災意識の啓発】

①.①水害リスク情報を共有できるハザードマップへの改良と周知及び活用の推進【有田町】

①.③防災意識向上と迅速な避難に役立つマイ防災マップづくりと拡充【有田町】

- 平成30年度に町内の土砂災害警戒区域等の指定及び有田川の浸水想定区域の公表が完了し、令和元年度に有田町防災マップを作成のうえ全戸配布し、ホームページでも公開している。
- 町指定の緊急避難場所や自治公民館、消防格納庫、町内の小中高等学校の区域をカバーするA1サイズのハザードマップを配布・掲示して地域のリスク情報を周知している。
- Web版ハザードマップにより自宅や勤務先等必要に応じた縮尺でマイ防災マップが作成可能となった。
- 令和3年度の改訂で、避難情報の更新（避難指示・高齢者等避難…）、ダム（竜門ダム・有田ダム）の越水ハザードマップの追加を行った。



↑防災マップ（令和4年2月改訂）



↑ダムの越水ハザードマップのページ



↑公共施設や自治公民館配布用マップ

成果

- 縮尺が大きくなり、地域の細部まで確認できるようになった。
- 地域防災の中核である消防団格納庫にて地域のリスク情報を把握できるようになった。

課題・今後の予定

- 町民の防災意識を高めるため、今後も住民説明会や防災訓練等の機会を活用し、ハザードマップを利用して、啓蒙活動を行いたい。

2. ソフト対策

①水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進する為の取組

②地域住民・市民団体・関係機関の連携・協同による地域の将来を担う人材の教育・発掘に向けた取組

【防災意識の啓発】

【長期浸水リスクの周知】

①.⑤ ②.⑤水防災教育、出前講座等を活用した講習会の実施【有田町】

②.⑦関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化【有田町】

②.⑧自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成強化【有田町】

- 地区で開催される会議等において、防災教育を実施した。
- 自主防災組織連絡協議会を結成し、組織間の情報共有体制の整備を図ることにより、町の防災体制の充実強化に努めた。また、消防団や防災士にも呼び掛け、佐賀県（危機管理防災課）と合同で防災研修会（自主防災リーダー研修会）を実施した。

成果

- 新しい避難情報等について説明し、各自が情報を入手することや判断することの必要性を理解してもらっている。
- 住民や児童が非常時にどのように対応すべきか、指示する人がいなくても各自で適切な判断をすることができるよう、防災講演会や視聴覚教材等を活用し、防災意識の啓発が図れた。

課題

- ハード整備により、大規模災害を経験した住民が少なくなってきたおり、逃げ遅れを防ぐためにも防災教育を実施し、防災意識の啓発が重要である。
- 出前講座等を実施できる職員を養成する必要がある。

今後の予定

- 自主防災組織や消防団、関係機関と連携して、避難訓練や地区防災会議等必要や要請に応じて、出向いて防災教育を実施していく。
- 児童等に対する防災教育も関係機関と連携をとって実施していく。
- 今後も自主防災組織連絡協議会により組織間の連携体制及び協力体制の充実強化を図る。



自主防災組織連絡協議会（R3.11.14実施）



自主防災リーダー研修会（R3.11.14実施）

2. ソフト対策

①水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進する為の取組

【避難行動に繋がる訓練】

【河川巡視情報の共有】

①.⑬水害リスクが高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施【有田町】

①.⑭重要水防箇所での共同点検【有田町】

- 区長へ地域の危険箇所について、情報提供してもらい関係機関（平成30年度より伊万里土木事務所からも参加）と合同で、住民立会のもと5月27日（水）に防災パトロールを実施した。地域から要望があった5箇所の確認を実施した。



防災パトロール（5/27（水））の様子

成果

- 雨期前に町と関係機関や地域住民で危険箇所を把握することで危機管理意識を共有できた。

課題

- 民地の管理不足による危険箇所が多く、行政として即座に対応できる箇所は少ない。
- 区長からの情報提供が減っている。

今後の予定

- 今後も情報提供を依頼し、継続して実施する。

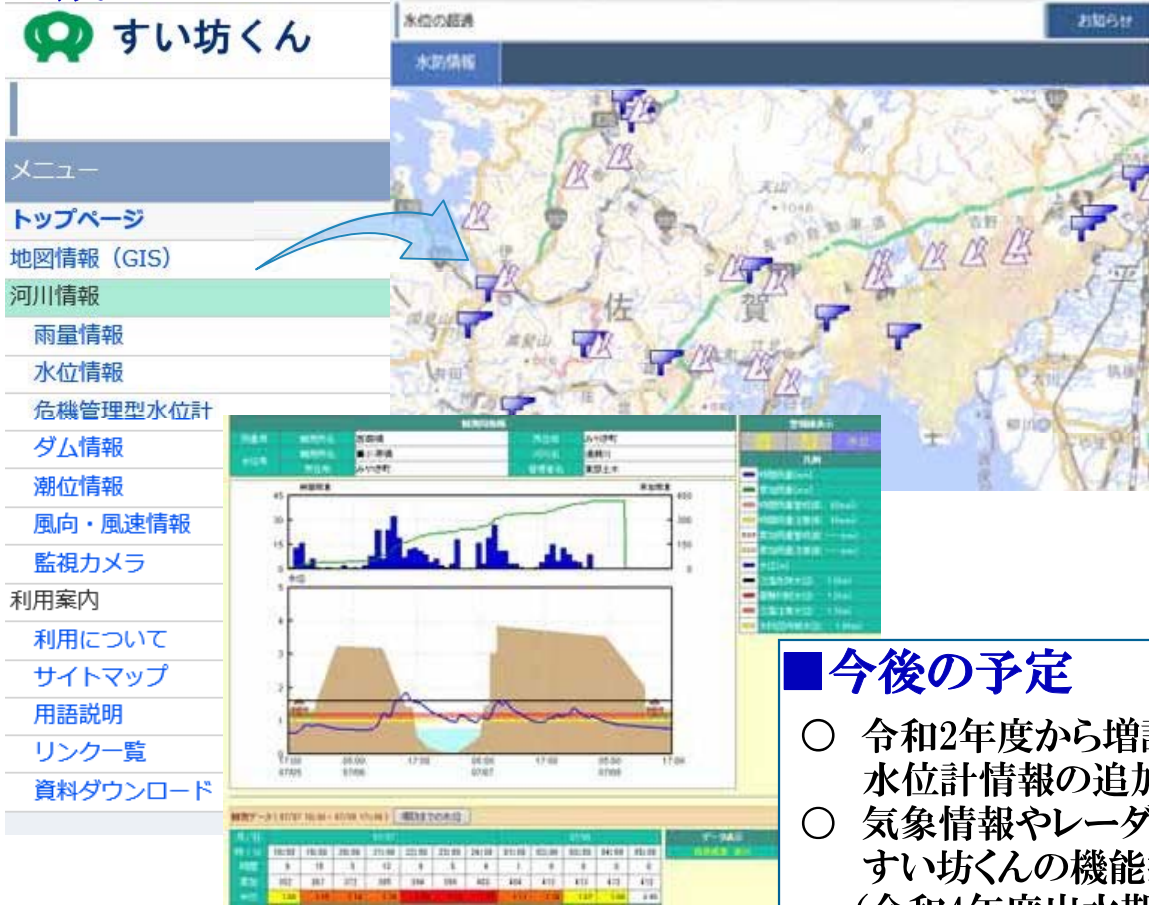
①水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組【住民等への防災情報の周知】

河川砂防課

■河川監視カメラ・危機管理型水位計の設置【佐賀県】

- 住民が避難行動を行う際の河川状況の把握と流域地自体が行う避難勧告等の判断材料の提供を目的に、
 - ・ すい坊くん（河川情報システム）の改良。

■成果



■今後の予定

- 令和2年度から増設している河川監視カメラや危機管理型水位計情報の追加公開
- 気象情報やレーダ雨量情報、砂防情報等を取り込み、すい坊くんの機能拡充を図る。
(令和4年度出水期前を目途に公開予定)

①水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組 【住民等への防災情報の周知】

■ケーブルメディアとの連携による河川情報の提供【佐賀県】

- ケーブルテレビの地域密着性というメディア特性を活かして、洪水時の切迫した映像情報や河川情報を届け、住民の的確な避難行動につなげることを目的とし、ケーブルテレビ事業者と画像情報提供に関する協定を締結(R3.10)



■佐賀県河川砂防課

○配信エリア： 佐賀県鹿島市 他

○ケーブルテレビ事業者：

(株)ネット鹿島

佐賀シティビジョン(株)

伊万里ケーブルテレビジョン(株)

(株)CRCCメディア

○情報提供の内容： CCTV映像

■成果

- 情報伝達手段の多様化により、多くの住民に河川情報を周知することができ、また適切な避難行動を促せるようになった。

■今後の予定

- 他地区のケーブルテレビ事業者等とも、映像提供に関する協定締結に向け調整を図っていく。

①水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組 【防災意識の啓発】

■あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実【佐賀県】

○ 8月30日～9月3日の間、防災週間にあわせて佐賀県で発生した著名な洪水のパネル展示を実施。



■成果

○ 防災週間で令和3年8月の豪雨や令和2年7月の梅雨前線豪雨による被害も含めたパネル展を実施したことで広く県民に防災意識の啓発が図られた。

■今後の予定

- 継続実施。
- 防災週間以外では、各種団体が開催する防災展などへパネルを貸し出し、防災に関する啓発に寄与していきたい。

■地域のイベントと連携したダム見学会【ダム管理事務所】

○異常洪水時の浸水リスクの周知に関する取組

- ・地元主催の「有田秋の陶磁器まつり」期間にあわせ、【有田ダム60周年記念見学会】を実施。
- ・イベント参加者を対象にR030811～14の洪水を中心に「ダムの洪水調節機能」と「異常洪水時の情報提供」について説明。



△ ダムの機能（洪水調節）について説明

■成果

- ・ダムには、大雨時に水を溜めることで、洪水を防ぐ役割があることの認識に繋がった。
- ・異常な大雨時には、防災情報に関心を持つことが大切であること、特にダムの洪水調節容量にも限界があることの認識に繋がった。

有田秋の陶磁器まつりメイン期間中に「有田ダム60周年記念見学会」を開催します

11月19日(金)～11月23日(火・祝) ①10:00～②12:00～③14:00～

ダムの役割の説明



ダムの役割についてお話ししたり、素朴な疑問などにお答えします！

ダムを管理するコンピューターをお見せします！

管理所内の見学



観光放流



普段はなかなか見ることができないダムの放流をみてみよう！

ダムの上からダム湖に映るきれいな紅葉が見れるかも！

紅葉見物



森川海はひとつ
佐賀の豊かな自然は、「人」が未来に繋げます
MORIKAWA RIVER PROJECT

11月20日(土)、21日(日)、23日(火・祝)は森川海人くんも遊びにくるよ！

有田ダムは、みんなの暮らしをみまもりつづけて60年。「ありがとう」の気持ちをこめて有田ダム60周年記念ダムカードをつくりました。

- ダムカードは有田ダムに来てくれた方に配布します。
- お一人様一枚限り。
- 令和3年11月19日(金)から配布予定。
- 60周年記念限定ダムカードのため、数に限りがあります(700枚限定)。
- 佐賀県のいろんなダムでもダムカードを配布しているので、ダム巡りをしてコレクションしよう！



ダムカードの紹介はこちら



佐賀県 県土整備部 ダム管理事務所 TEL.0954-23-7327



佐賀県のダムの紹介はこちら



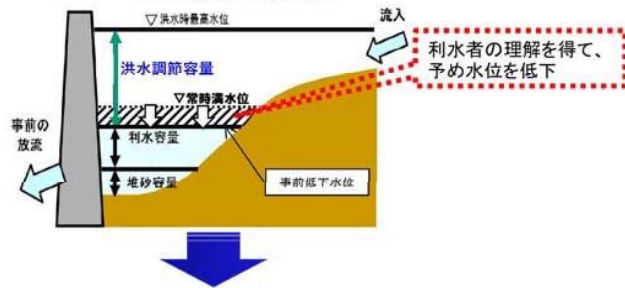
有田川の観光についてはこちら

③洪水被害軽減のための取組と既存施設運用の工夫等の取組 【既存施設運用等】

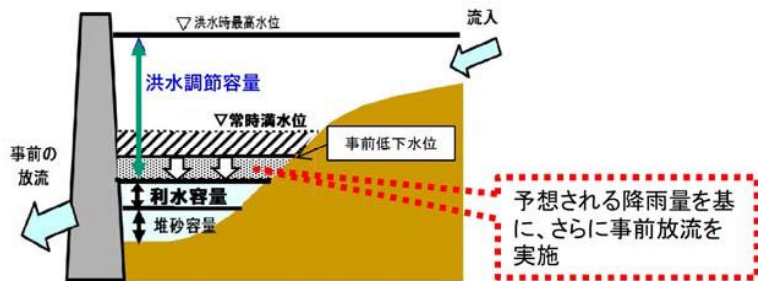
○既存ダム洪水調節機能強化の取組（全13ダムで、事前放流の実施）

- ① 予め出水期中は常に通常より水位を低下させておく「期別の貯水位低下運用」を実施。
- ② 大規模な洪水をもたらすような大雨が予想される場合、早ければ3日前からさらに利水容量の一部を事前放流。

①出水期（常時）



②大雨が予想される場合



期別の貯水位低下運用一覧

区分	ダム名	常時満水位	期別の貯水位低下運用		区分	ダム名	常時満水位	期別の貯水位低下運用	
			常時満水位からの低下量	低下貯水位				常時満水位からの低下量	低下貯水位
1級	平木場ダム	75.1m	-0.5m	74.6m	2級	岩屋川内ダム	182.5m	-1.0m	181.5m
1級	伊岐佐ダム	250.5m	-0.8m	249.7m	2級	深浦ダム	40.6m	-0.5m	40.1m
2級	竜門ダム	100.7m	-0.5m	100.2m	1級	矢筈ダム	100.6m	-1.0m	99.6m
2級	有田ダム	111.0m	-0.5m	110.5m	2級	横竹ダム	180.5m	-0.5m	180.0m
2級	都川内ダム	56.4m	-0.5m	55.9m	1級	狩立・日ノ峯ダム	111.0m	-1.4m	109.6m
1級	井手口川ダム	98.1m	-0.5m	97.6m	2級	中木庭ダム	222.5m	-1.0m	221.5m
1級	本部ダム	145.3m	-1.0m	144.3m					

■成果

昨今の水害の激甚化等を踏まえ、洪水調節機能の強化が図れた。

洪水を安全に流すためのハード対策

【ハード対策】

■堤防(護岸)整備、河道掘削、堤防浸透対策【伊万里土木事務所】

- 有田川・立川の改修を継続実施
- 板治川の河道掘削・護岸整備を継続実施し、橋梁架替を完了。



板治川(橋梁架替・護岸整備状況)

■住民にわかりやすく水位情報を示すための量水標等の設置【伊万里土木事務所】

- 住民にわかりやすく水位情報を示すための水位レベル表示(量水標等)を設置
- 平成28年度より水位周知河川を対象に距離標を設置
- 距離標に設置箇所の海拔を併記することで、避難行動等への活用が期待される



有田川 菅野橋[水位レベル表示]
(有田町)



有田川 長井手[水位レベル表示]
(伊万里市)



伊万里川[距離標設置]
(伊万里市)

■成果

平成29年に有田川で量水標、伊万里川・新田川等で距離標を設置
(県内では県が管理する12河川20箇所で量水標を設置)

河川の水位状況を容易に認識することができ、水害リスクに対する意識啓発が行えた

■今後の予定

○水防管理者と意見交換を行い、住民の目のつく箇所への量水標設置について更なる検討を行う